

## 2019年度決算及び剰余金の配当(期末)について

### <損益実績(連結)>

	'19年度	上期	下期	'19上期→ '19下期	'18年度	'18年度→ '19年度	'19年度見 (2/7公表)
売上収益	59,215	30,471	28,743	-1,728	61,779	-2,564	59,000
減損等前事業利益 [ROS]	765	731	34	-697	3,369	-2,604	540
減損損失等※1	▲3,609	-	▲3,609	※5 -3,609	-	※5 -3,609	▲3,640
事業利益※2 [ROS]	▲2,844	731	▲3,575	-4,306	3,369	-6,213	▲3,100
個別開示項目※1、※3	▲1,217	-	▲1,217	-1,217	▲718	-499	▲1,260
親会社の所有者に 帰属する当期利益 <1株当たり当期利益>	▲4,315	387	▲4,702	-5,089	2,511	-6,826	▲4,400
E B I T D A ※4	4,668	2,849	1,819	-1,030	7,455	-2,787	4,379
有利子負債	24,887	25,751	24,887	-864	23,692	+1,195	
劣後ローン・劣後債資本性調整後D/Eレシオ	0.74	0.65	0.74	+0.09	0.66	+0.08	

(※2) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。  
(※3) 当社グループの営業活動と関連が低く金額的影響が大きい非定期的項目 (※4) 事業利益+減価償却費+減損損失

### <諸元>

(1) 当社

連結粗鋼生産量(万t)	4,705	2,427	2,279	-148	4,784	-79	4,730程度
単独粗鋼生産量(万t)	3,954	2,022	1,932	-91	4,100	-146	3,970程度
鋼材出荷量(万t)	3,631	1,843	1,788	-55	3,797	-166	3,640程度
鋼材価格(千円/t)	87.3	87.9	86.7	-1.3	89.9	-2.6	87程度
為替(円/\$)	109	109	109	0円高	111	2円高	110程度

(2) 全国

粗鋼生産量(万t)	9,842	5,066	4,776	-290	10,289	-446	9,863程度
鋼材消費(万t)*1 (うち製造業)	5,886 (3,758)	3,036 (1,962)	2,850 (1,796)	-185 (-166)	6,232 (4,033)	-346 (-275)	5,980 (3,839)
<製造業比率>	<63.8%>	<64.6%>	<63.0%>	<-1.6%>	<64.7%>	<-0.9%>	<64.2%>
普通鋼鋼材消費(万t)	4,716	2,408	2,308	-100	4,928	-212	4,726
建設	2,042	1,034	1,008	-26	2,119	-77	2,062
製造業	2,674	1,374	1,300	-73	2,809	-135	2,664
特殊鋼鋼材消費(万t)	1,170	628	542	-86	1,304	-134	1,254
国内メーカー間在庫(万t)	*2 595	595	595	-0	593	+2	
薄板三品在庫(万t)	*2 448	445	448	+3	447	+2	

\*1 当社推定値 \*2 2月末(連報)

### <セグメント情報>

売上収益	59,215	30,471	28,743	-1,728	61,779	-2,564	59,000
製鉄	52,573	27,041	25,531	-1,510	54,545	-1,972	52,700
エンジニアリング	3,404	1,579	1,824	+245	3,567	-163	3,400
ケミカル&マテリアル	2,157	1,141	1,015	-126	2,470	-313	2,200
システムソリューション	2,732	1,502	1,230	-272	2,675	+57	2,740
調整額	▲1,652	▲793	▲859	-66	▲1,478	-174	▲2,040
事業利益	▲2,844	731	▲3,575	-4,306	3,369	-6,213	▲3,100
製鉄	▲3,253	492	▲3,745	-4,237	2,746	-5,999	▲3,550
エンジニアリング	107	51	55	+4	94	+13	100
ケミカル&マテリアル	184	113	70	-43	250	-66	190
システムソリューション	*3 261	149	111	-38	265	-4	270
調整額	*3 ▲144	▲76	▲68	+8	11	-155	▲110

\*3 日鉄ソリューションズ(株)の一部物品仕入販売型取引に係る事業利益修正を2019.3Q決算において反映。

### (※1) 減損損失等及び個別開示項目

	事業利益	個別開示項目	合計
鹿島	▲1,504	-	▲1,504
名古屋	▲1,228	-	▲1,228
広畑	▲447	-	▲447
当社単体	▲3,179	-	▲3,179
日鉄日新	-	▲787	▲787
当社及び日鉄日新計	▲3,179	▲787	▲3,966
その他	▲430	▲430	▲860
合計	▲3,609	▲1,217	▲4,826

### (※5) 減損等前連結事業利益差異の内訳

	2019上期 →2019下期	対前回	2018年度 →2019年度
減損等前連結事業利益 差異	-690	+230	-2,600
1. 製鉄事業	-670	+270	-2,440
① 生産出荷	-250	-	-700
② 販売価格・構成	-250	+30	-300
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	-250	-	-890
④ コスト改善	+400	+100	+600
⑤ 在庫評価差	-90	+40	-400
⑥ グループ会社	-90	+40	-520
⑦ 為替影響(ストック・フロー)	-20	~	-90
⑧ 18FY豪雨、台風、地震影響	~	~	+350
⑨ 19FY災害影響(※6)	+40	~	-420
⑩ その他	-160	+60	-70
2. 鉄以外セグメント	-80	-10	-60
3. 調整額	+60	-30	-100

### (※6) 19FY 災害影響内訳

	数量 影響	コスト 影響	2019年度 損益影響 【対2/7公表】	2019 上期	2019 下期
君津落雷	当社 -50	-50	-100 【±0】	-100 【±0】	-
日鉄日新 呉火災	当社 連結 -20	-100	-120 【±0】	-50 【±0】	-70 【±0】
台風15号	当社 -70	-130	-200 【±0】	-80 【±0】	-120 【±0】
合計	当社 連結 -140	-280	-420 【±0】	-230 【±0】	-190 【±0】

### (※3) 個別開示項目内訳

	2019 年度	2018 年度	'18年度 →'19年度	備考
個別開示項目 合計	▲1,217	▲718	-499	
災害損失	-	▲223	+223	台風・豪雨関連
事業再編損	▲1,217	▲494	-723	減損損失、事業撤退損、 設備休止関連損失他

### 【剰余金の配当(期末)について】

当期の業績は、国内外の鉄鋼需給環境の悪化、災害影響等により収益が悪化したことに加え、事業用資産の減損損失の計上により▲4.315億円の当期損益の赤字となりました。  
当期末の剰余金の配当については、第三四半期決算発表時(2020年2月7日)に公表致しましたとおり、誠に遺憾ではありますが、実施を見送ることとさせていただきます(年間配当金としては1株につき10円)。

## 足元の経営環境と当社の対応

新型コロナウイルス影響による事業環境悪化は、影響の規模・期間を想定することが困難であるため、2020年度業績見通しについて現時点では当社として合理的な算定・予想を行うことができません。

従いまして、業績予想については未定とし、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示致します。

### 1. 経営環境認識

・複合要因により鉄鋼業にとって厳しい環境

2019～ 米中対立・中国減速・主原料高止まり + 2020～ コロナ・油価下落・為替安による新興国購買力低下

・コロナ影響が収束しても厳しい環境が継続することを前提に必要な構造対策の前倒し・追加を検討

### 2. 当社の対応方針

#### (1) 新型コロナウイルス影響への対応

##### ① 需要規模減少と対応

・足元で、急激に需要規模が縮小しており、生産規模は粗鋼能力に対して稼働率60%程度となる見通しかつ、回復には時間を要すると想定(2Qも影響継続を想定。回復時期は不透明)

・従前より取組んできた「経済生産」への切替に加え、足元の需要規模の急減に対して、高炉バンキング等、迅速な減産対応を実行

(鹿島1BF・和歌山1BF・君津2BF・小倉2BF及び関連CO炉のバンキング、室蘭2BF吹止め前倒し)

##### ② BCP対応

罹患防止対策の徹底とシフトダウン・一時帰休の推進(雇用調整助成金を申請)

・スタッフ社員：在宅勤務・テレワークの推進

・国内製鉄所等勤務者：生産規模に応じたシフトダウン、一時帰休対策の徹底

・海外事業会社：安全面を最優先に状況に応じて帰国対応、遠隔でのオペレーションを実施中

原料資材サプライチェーン・物流ネックへの対応

資金・財務対策：FCF悪化をふまえた対策に取り組み中。

#### (2) 2020FY 収益

##### ① 収益水準

・コロナ影響発生前の時点では、2020FY 単独営業損益黒字化に目途

・コロナ影響収束後においては、いかなる環境においても単独営業利益黒字を確保

##### ② 単独営業損益黒字化への取り組み

1) 固定費の大幅圧縮(2020年度：2,000億円規模/年)による損益分岐点引き下げ(うち、構造対策効果発揮260億キャッシュ固定費(修繕費等)、償却費1,100億円(減損影響600+定額法変更影響500))

2) 実力操業諸元の改善による変動費低減(2020年度：500億円以上/年)

3) 紐付き価格は正への継続的な取り組み

##### (3) 生産設備構造対策

2月7日公表案件に加え、必要に応じて追加の施策を検討・実行

以上

日本製鉄株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 有田 進之介

TEL (03)6867-2135、2146、2977、3419

<2020年3月期 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		年度
2018年度	2,656	2,565	5,222	2,570	2,497	5,067	10,289						
2019年度	2,612	2,455	5,066	2,365	2,411	4,776	9,842						

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2018. 3 末	578	(139.4)	415	20.0
2018. 4 末	580	(148.0)	415	19.6
2018. 5 末	588	(150.2)	434	20.0
2018. 6 末	593	(149.3)	441	20.7
2018. 7 末	568	(143.0)	420	20.8
2018. 8 末	601	(170.7)	439	20.4
2018. 9 末	623	(176.5)	440	19.8
2018.10 末	587	(132.0)	426	18.4
2018.11 末	559	(133.8)	414	18.4
2018.12 末	574	(151.6)	417	18.7
2019. 1 末	598	(154.4)	440	19.5
2019. 2 末	593	(152.5)	441	20.8
2019. 3 末	593	(141.6)	447	21.9
2019. 4 末	602	(160.6)	454	22.7
2019. 5 末	611	(164.8)	462	22.7
2019. 6 末	612	(161.0)	457	22.0
2019. 7 末	582	(145.5)	442	20.6
2019. 8 末	612	(188.8)	457	19.8
2019. 9 末	595	(157.7)	445	19.1
2019.10 末	585	(155.4)	433	18.2
2019.11 末	580	(158.0)	434	18.0
2019.12 末	582	(172.0)	432	19.1
2020. 1 末	591	(173.0)	444	19.6
2020. 2 末*	595	(176.3)	448	19.6

\*2020.2末は速報値

〔当社〕

## 3. 出銑量（当社＋北海製鉄）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	1,025	1,024	2,049	1,024	1,013	2,037	4,086
2019年度	1,033	1,018	2,052	965	993	1,958	4,009

## 4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋連結子会社

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	1,189	1,176	2,365	1,213	1,206	2,419	4,784
2019年度	1,244	1,182	2,427	1,124	1,155	2,279	4,705

【参考：単独ベース】

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	1,029	1,021	2,050	1,029	1,022	2,050	4,100
2019年度	1,027	995	2,022	942	990	1,932	3,954

## 5. 鋼材出荷量

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	957	899	1,856	992	948	1,941	3,797
2019年度	911	932	1,843	891	897	1,788	3,631

## 6. 鋼材平均価格

単位：千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	87.2	90.2	88.7	91.5	90.9	91.2	89.9
2019年度	88.1	87.8	87.9	87.4	86.0	86.7	87.3

## 7. 鋼材輸出比率（金額ベース）

単位：%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	41	41	41	40	37	39	40
2019年度	40	41	40	40	40	40	40

## 8. 為替レート

単位：円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2018年度	108	111	109	113	110	112	111
2019年度	111	108	109	109	109	109	109

9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費  
【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2018年度	4,408	4,086
2019年度	4,813	4,173

以 上